

第30回埼玉県障害児通園施設職員 実践交流セミナー

開催要領

開催テーマ

「あたたかい風が吹く支援をめざして」

－ ひとり一人に寄り添う支援 今、児童発達支援に求められているもの －

開催趣旨

発達が気になる子、配慮が必要な子への支援、その家族への支援、他の事業所や幼稚園、保育所、医療等とのつながり作り等々、皆さん休みなく奮闘されていることと思います。

毎年開催しておりますこの実践交流セミナーも今年で30回目を迎えました。県内の児童発達支援に関わる職員等が顔を合わせることでできる数少ない機会として、毎年たくさんの方々に参加していただいています。30年継続して開催できてきたのも、「学びあいたい」「話し合いたい」「思いを共有したい」と、皆さんが日々感じている思いの強さの証だと感じています。

今年も、埼玉県発達障害福祉協会、埼玉県障害児通園施設協議会、埼玉県理学療法士会の主催三者で、6月から月1回のペースで実行委員会を重ね、準備をしてきました。昨年度は、県内57施設・事業所から188名の参加がありました。ありがとうございました。

今回のセミナーは、午前の講演会では、『児童発達支援に関わる者たちに求められる理念と方向性』というテーマで、姫路聖マリア病院 重度障害総合支援センター ルルド センター 長宮田広善先生にご講演をいただきます。午後は、30回の節目として例年よりもセッションを1つ増やし、5つのセッションを企画しています。

様々な支援形態の事業所も増え、福祉サービスの利用の仕方も多岐に渡り、ひとりの子が複数の事業所を利用することも珍しくなくなってきました。そこで働く支援者の経験年数や支援スキルも様々であり、支援者同士のつながりや研修の在り方、地域の社会資源との連携の仕方も事業所によって大きく異なります。

このセミナーでは、“今、児童発達支援には何が求められているのか？”“子どもの成長発達をどう描いていけばよいのか？”“他の社会資源や地域との連携は？”といった大きなテーマに触れながら、目の前の子どもとの関わりや遊び、個別支援計画の在り方、親支援等、明日の支援に活かせる内容を盛り込んでいきたいと考えています。

皆さんの思いや悩みに沿った研修となるよう、事前アンケート等から参加者皆さんの思いをできるだけ反映させ、経験年数の浅い方から、中堅、ベテランの方まで、それぞれの立場で実践を語り合い、見つめ直すことでできる場を作りたいと思います。是非、積極的にご参加いただき、日々の実践の交流を図っていただけますよう、よろしくお願ひします。

- 1 主 催 埼玉県発達障害福祉協会
埼玉県障害児通園施設協議会
公益社団法人埼玉県理学療法士会（予定）

- 2 企画実施 埼玉県障害児通園施設職員実践交流セミナー実行委員会
 3 後援(予定) 社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会
 4 期 日 令和2年2月9日(日)
 5 参加者 県内児童発達支援事業所職員(支援に携わる全職員)、関係機関職員
 6 会 場 彩の国すこやかプラザ 2階 セミナーホール他
 (「12会場案内図」参照)

7 日程及び内容

9:30	9:50	10:00	11:50	13:15	16:15
受付	開会	講演会	昼食・休憩	セッション	閉会

(1) 講演会(10時～11時50分)

テーマ 『児童発達支援に関わる者たちに求められる理念と方向性』

講師 宮田 広善 先生
 (姫路聖マリア病院 重度障害総合支援センタールルド センター長)

私たちがセミナー開催当初から心血を注いでいた“障害児指導”は、宮田先生が分担研究された「障害児通園施設の機能統合に関する研究」において、“発達支援”という概念を公式に提唱されたことにより、家族支援、地域支援も包含した支援へと変遷の途を踏み出しました。

子ども達に希望に満ちた未来をと願う気持ちは普遍的ですが、「生まれ育つ身近な地域で」「どんな障害があっても」「障害が確定しない『境界域』の子どもまで対象に」「地域での健やかな育ちや地域での豊かな暮らしを保障する」と、支援の定義は変わってきています。

支援者に求められるもの、目指すべきものについて、30回の節目に、全国的に活躍されている宮田先生よりご教示いただきます。

(2) セッション(13時15分～16時15分)

別紙「セッション一覧」をご確認の上、参加申込書に希望するセッションの番号を記入してください。

なお、会場の都合で、申込人数によってはご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

8 参加費について

(1) 参加費

1, 500円（講演会、セッション含む）

(2) 振込みについて

令和2年1月15日（水）までに以下の留意事項をご確認の上、指定の銀行口座にお振り込みください。

なお、当日現金でのお支払いは受け付けませんので、ご了承ください。

<留意事項>

- (1) 銀行備え付けの振込用紙をご利用ください。振込手数料はご負担願います。
- (2) 振込受領書をもって、領収書に代えさせていただきます。なお、公費で研修を受けられる方で領収書が必要な方は、研修日当日、受付で申請してください。
- (3) 振り込まれた参加費は返金できません。代わりの方の参加は可能です。
- (4) 法人や団体、会社名義でお振込みいただく場合、別紙申込書の「送金に関する連絡事項」に12文字以内で振込人名義を記入し、その通りの名義で振り込みをしてください。
- (5) 参加申込書の「参加費振込みについて」の欄に、振込日等必要事項を明記してください。
- (6) 1施設から複数名分を一括納入する際は、参加申込書の「送金に関する連絡事項」の欄に、人数と参加者のフルネームを明記してください。

<振込先>

銀行名：埼玉りそな銀行 川越支店 口座番号：普通預金口座 4051312 名 義：「実践交流セミナー実行委員会 山本千恵子」
--

9 セッションの事前アンケートについて

セッションへ参加される方は、参加を希望するセッションのアンケートにご回答の上、セミナー申し込みと同時に下記まで送ってください。

【事前アンケート送付先】

○第1・第3・第4セッション

埼玉県発達障害福祉協会 事務局 担当：金子 FAX 048-822-3078 メール kaneko@fukushi-saitama.or.jp

○第5セッション

富士見市立みずほ学園 第5セッション担当 前田 FAX 049-252-3348 メール mizuho@bz04.plala.or.jp
--

10 申し込みについて

(1) F A Xまたはメールによる申し込み方法

別紙「参加申込書」に必要事項を記入の上、令和2年1月10日(金)必着で埼玉県発達障害福祉協会事務局までF A Xまたはメールにてお申し込みください。「参加申込書」は、埼玉県発達障害福祉協会のホームページにも掲載しております。

(2) 電子申込システムによる申し込み方法

以下のURLにある、**Web申し込みはこちら**をクリックし、項目を入力して送信してください。申込みが完了すると、即時に自動確認メールが届きます。携帯、スマートフォンからお申込みができます。

ホームページ URL <http://www.fukushi-saitama.or.jp/saitama13/hattatsu/>

(3) 申し込み先

埼玉県発達障害福祉協会 事務局

埼玉県社会福祉協議会 施設業務課内 (担当：金子)

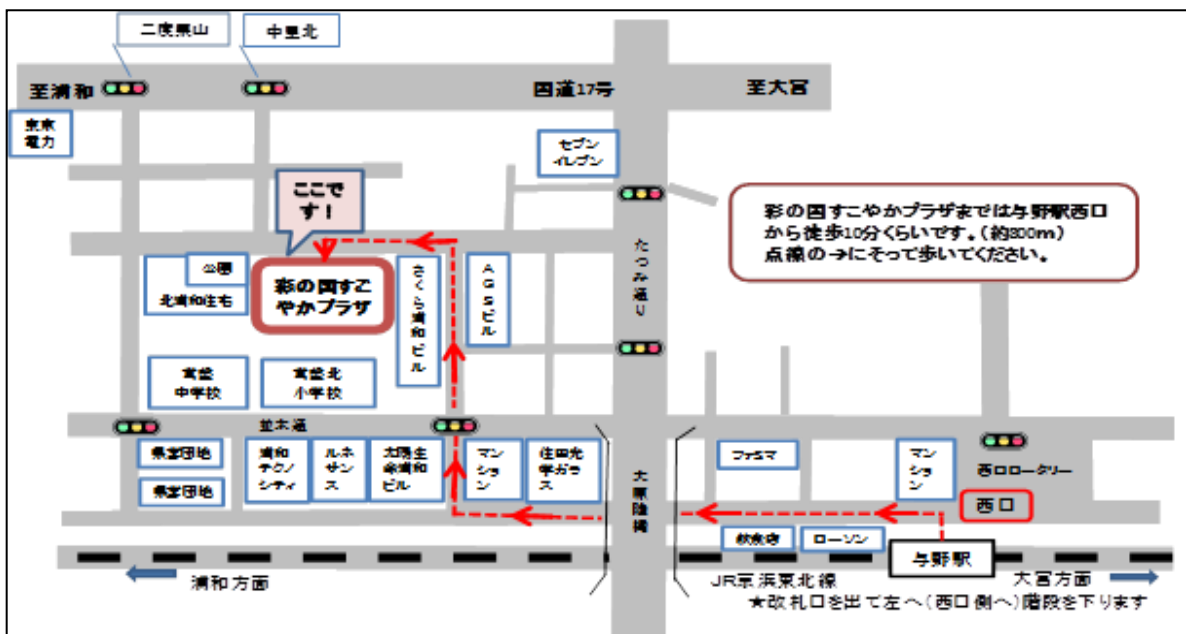
Tel : 048-822-1191 Fax : 048-822-3078 E-mail : kaneko@fukushi-saitama.or.jp

11 その他

- (1) 会場周辺にはレストラン等がありませんので、昼食については各自ご用意くださるようお願いいたします。
- (2) 駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- (3) 参加申込書の記載事項は、当会で出席や受講等の情報管理を行うこと、研修当日の参加者名簿として配付すること以外の目的には使用いたしません。

12 会場案内図 (彩の国すこやかプラザ)

【住所】さいたま市浦和区針ヶ谷 4-2-65 (JR 与野駅西口 徒歩 10 分)



13 問い合わせ先

講演会及びセッションの内容についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【講演会・セッションのお問合せ先】

担当	氏名	施設名	電話番号
実行委員代表	柳澤 健一	社会福祉法人みのり福祉会 児童発達支援センターあんず	04-2969-3355
第1セッション	神子嶋 誠	埼玉医科大学保健医療学部 理学療法学科	049-295-1001
第2セッション	小林 睦美 牟田 尚江	新座市児童発達支援センター アシタエール	048-485-9783
	矢野 美佳	さいたま市社会福祉事業団 大崎むつみの里第2事業所	048-878-2045
第3セッション	江田 智美 新家 康洋	所沢市立松原学園	04-2990-3488
	久保島 薫	社会福祉法人ひらく会そだち園	048-420-9074
	日下 千恵	川口市立わかゆり学園	048-282-9553
第4セッション	宇野 直美 伊藤 裕代	川口市立わかゆり学園	048-282-9553
	佐藤 和子	所沢市立松原学園	04-2990-3488
	宮崎 絵理	川越市児童発達支援センター	049-257-6900
第5セッション	柳澤 健一	児童発達支援センターあんず	04-2969-3355
	前田 恵美子 丸山 真理	富士見市立みずほ学園	049-252-3237
	嶋崎 浩子	川越市児童発達支援センター	049-257-6900

※天候不良等、セミナー開催についての当日の連絡先は080-8703-9655(あんず柳澤)となります。

《セッション一覧》

	内容及び発表者	担当実行委員
第 1 セ ッ シ ョ ン	<p>テーマ 『スモールステップで考える発達と遊び』 ～不器用な子・集団に入れない子の感覚特性～</p> <p>発表者： 岡田 朋子先生（飯能中央病院 理学療法士）</p> <p>不器用な子、集団に入れない子に対してどんな遊びを提供していますか？子ども達は、生まれた状況や育った環境によって様々な特性を持っています。課題のある子どもには育成背景や発達段階を考慮して、問題を細かい階段（スモールステップ）に分けて遊びを提供していく必要があります。今回は、発達理論の基礎と発達障害のお子さんにみられる感覚の特性を中心に知識を深めていただきたいと思います。さらに、知識のもとに、遊びの目的と方法を実技を通して身に付けてもらえたらと思います。明日から使える知識と技術を身に付けて、子どもたちの成長を促していきましょう。</p> <p>*第1セッション参加希望の方は申込用紙とは別に、同封のアンケートを期限内に送付してください。</p>	<p><担 当></p> <p>神子嶋 誠 (埼玉医科大学 保健医療学部)</p> <p>高木 健志 (目白大学)</p> <p>猪又 早貴 (だいぞう訪問看護 リハビリテーション 東浦和)</p> <p>宗像 菜摘 (放課後等デイサー ビスそらいろ)</p>
第 2 セ ッ シ ョ ン	<p>テーマ 『親支援』</p> <p>助言者： 嵯峨 芳子先生（鴻沼福祉会 相談支援専門員）</p> <p>今回は「子どもの育ちにとって大切にしたいことは何か」「母子関係・親の育ちについて」を助言者の先生に話していただき、子どもの育ちに関わっていく職員として、大切にしていこうと考えるきっかけになればと思います。</p> <p>先生の話聞いた後にグループに分かれて、日々取り組んでいることや悩みなどを語り合う時間を設けます。子どもの気持ちをどう受け止め寄り添っていくか、母子関係や親子の関わりをどのようにサポートしていくかを考えるきっかけになればと思います。他施設の先生方とお話しする機会ですので、ぜひ、お気軽にご参加ください。</p>	<p><担当・記録></p> <p>小林 睦美 牟田 尚江 (アシタエール)</p> <p>矢野 美佳 (大崎むつみの里 第2事業所)</p>

	内容及び発表者	担当実行委員
第 3 セ ッ シ ョ ン	<p>テーマ 『あそびと生活』</p> <p>1部は、保育の中で行う設定遊びについてみんなで話し合います。子ども達の発達を促す為、子ども達に楽しく参加してもらうために皆さんは日々の保育の中でたくさんの工夫をしているのではないのでしょうか。各施設で工夫していることを情報共有し、明日の保育に活かせる遊びに引き出しを増やしていきましょう。</p> <p>2部は、園生活での悩みや工夫をグループで話し合います。トイレが苦手な子に対してトイレトレーニングはどう進めたらよいのだろう。食事が苦手な子にどう対応したらよいのだろう等、悩みの解決の糸口をみんなで見つけていけたらと思います。</p> <p>*第3セッション参加希望の方は、申込用紙とは別に同封のアンケートを送付先に期限内に送付してください。グループ分けの参考にさせていただきます</p>	<p><担当・記録></p> <p>江田 智美 新家 康洋 (松原学園)</p> <p>久保島 薫 (そだち園)</p> <p>日下 千恵 (わかゆり学園)</p>
第 4 セ ッ シ ョ ン	<p>テーマ 『縦横の連携・地域とのつながり』</p> <p>平成29年に出されたガイドラインでは、児童発達支援の内容の中で“障がいのある子どもの地域社会への参加・包容（インクルージョン）を推進するため、児童発達支援センター等は、保育所等子育て支援機関等の関係機関との連携を深め、地域の子育て環境や支援体制の構築を図るための「地域支援」を行うことが必要である・・・”と掲げられ早3年目を迎えました。</p> <p>地域における連携の核としての役割が求められている中、支援をする私たち（センター等）は保育所等訪問事業、併用利用、移行支援、発達相談の中でまた、地域の違いはありますが、いろいろな思いや悩み・難しさを抱えながら、横の連携や地域とのつながりを模索していると同時に、子どもの成長に伴い学校に行くなどの縦への連携も重要視されていると思います。</p> <p>事前のアンケートをもとに、それぞれの現状を共有しあい、連携の実践について情報交換し、今後につなげていきましょう。</p> <p>*第4セッション参加希望の方は申込用紙とは別に、同封のアンケートを期限内に送付してください。</p>	<p><担当・記録></p> <p>宇野 直美 伊藤 裕代 (わかゆり学園)</p> <p>佐藤 和子 (松原学園)</p> <p>宮崎 絵理 (川越市児童発達支援センター)</p>
	内容及び発表者	担当実行委員

テーマ「個別支援計画」

～大切にしていること・大切にしたいこと～

「個別支援計画」を作成する際は、ベテランもビギナーも皆さん頭を抱えていらっしゃると思います。本人や家族のニーズを確認し、集団生活や家庭などの複数の生活場面があることを踏まえ、子どもの力を丁寧に捉えながら・・・と考えることはいっぱい、作ってはいるものの、「これでいいのかな」という疑問や不安をお持ちだと思います。

「個別支援計画」には正解はありません。それぞれの事業所で何を大事にして作っているのか、作り手の気持ち、もらい手の気持ちなど、計画書をいろいろな角度から眺めてみませんか。それをいろいろな事業所の先生方と情報交換しながら、皆さんの個別支援計画作りからヒントをもらって、計画作りだけでなく、明日からの療育に活かせるようにしていきたいと思っています。

国県レベルで行われている児童発達支援管理責任者（サービス管理責任者）の研修が今年度より形を変え、分野別研修ではなくなりました。埼玉県では、しばらくの間、児童特有の視点で養成される機会が持てない事態となっています。

このセッションは、「発達期の支援」における個別支援計画で大切にしたいポイントを確認できる場ともなるよう、今回設定しました。

***第5セッション参加希望の方は申込用紙とは別に、同封のアンケートを期限内に送付してください。**

■みずほ学園宛 FAX：049-252-3348
 メール：mizuho@bz04.plala.or.jp

前田 恵美子
丸山 真理
(みずほ学園)

嶋崎 浩子
(川越市児童発達
支援センター)

柳澤 健一
(児童発達支援
センターあんず)

第
5
セ
ッ
シ
ョ
ン

第30回埼玉県障害児通園施設職員実践交流セミナー 参加申込書

※参加費の振り込みを個人で行う場合は、本申込書をひとり1枚ご記入いただき、お申込みください。

また、事業所単位等複数人分一括で振り込む場合は、1枚にまとめてご記入いただき、お申込みください。欄が足りない場合は、コピーしてご使用ください。

設立主体		事業所名	
所在地	〒 (連絡担当者：)		
TEL		FAX	
メール			

氏名	性別	経年数 障害児に関わった年数	職名	職種	講演会	希望セッション 番号
ふりがな	男・女	年 月 (令和2年1月現在)		保育士・児童指導員・看護師・保健師・心理士・事務・OT・PT・ST・その他()	参加 不参加	
ふりがな	男・女	年 月 (令和2年1月現在)		保育士・児童指導員・看護師・保健師・心理士・事務・OT・PT・ST・その他()	参加 不参加	
ふりがな	男・女	年 月 (令和2年1月現在)		保育士・児童指導員・看護師・保健師・心理士・事務・OT・PT・ST・その他()	参加 不参加	
ふりがな	男・女	年 月 (令和2年1月現在)		保育士・児童指導員・看護師・保健師・心理士・事務・OT・PT・ST・その他()	参加 不参加	

参加費振込みについて

送金に関する連絡事項(一括送金等)・その他備考	【参加費】 @1,500円 × 人 = 円	振込金額 計 円	振込日 月 日												
事業所名と振込名が違う場合は、振込名を記入してください(12文字以内)															
<table border="1" style="width:100%; height:20px;"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>															